（基準様式第２号）

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和８年９月 28 日

事業実施地区	綿内町区
事業名	太々神楽大胴修繕事業
団体名及び 代表者名	（団体名）町区太々神楽実行委員会 （代表者名）会長　■■　■ （連絡先）　XXX-XXXX-XXXX

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

奉納や練習で使用する「大胴」の革が破損してしまい使用できなくなりました。十分な練習ができず、後継者の育成にも影響が出る状況です。また、奉納時にも支障が出てしまいます。 破損をした大胴の革を新しく張替えることにより、練習が今まで通りでき、奉納にも使用することができます。	【事業完了日】 令和８年９月 28 日 【総事業費】 148,000 円 【補助金額】 70,000 円

※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

計画通り 9 月中に革の張替えが終了したため、9/28（月）の高野神社の奉納に使用することができました。また、9/27（日）「町区ふれあいフェスティバル」にて集まった 70 名余りの区の民方に披露をすることができました。その際、区内の児童など約 30 名が参加をして、修理をした大胴を使用して「神楽体験」をすることができました。

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に〇）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容	〇			
事業の効果	〇			
特記事項 （評価理由等）	9 月末のイベントにて「修理をした大胴の披露」や「神楽体験」が行えた。 高野神社秋季例大祭の奉納に使用することができた。			

■今後の取組予定

・後継者育成のための練習に使用するとともに、奉納や獅子舞フェスティバルなどにて使用をする。
・回覧板などで「支所発地域力向上支援金事業」により大胴の革の張替えが行われたことを区民の皆様に報告をする。

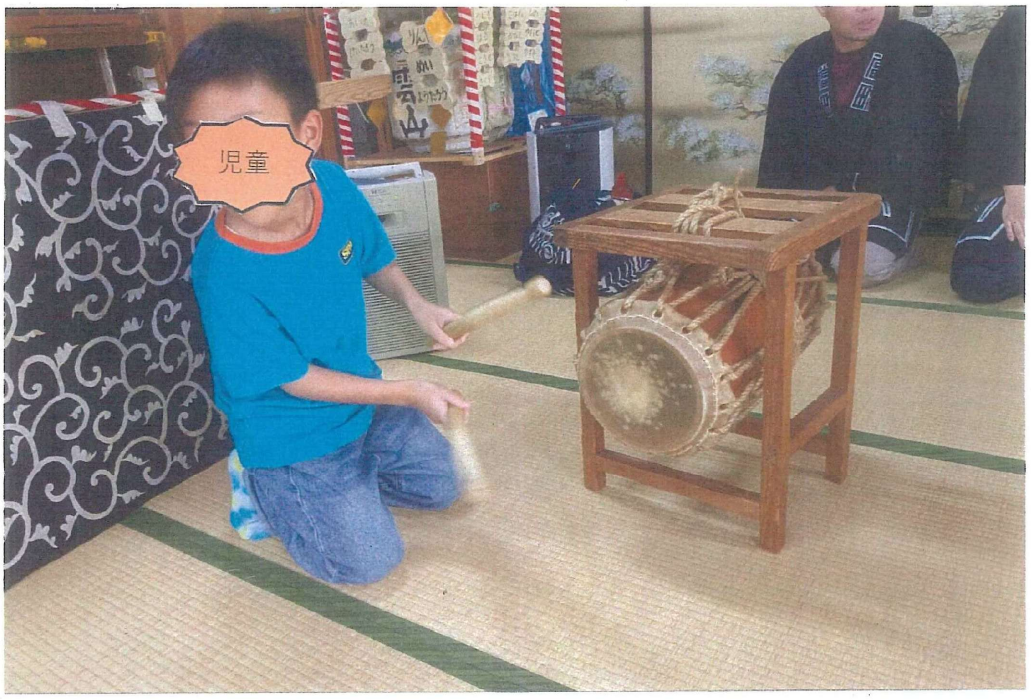
〈修繕後〉



〈修繕前 ／ 破損個所〉






児童

（基準様式第３号）

支所発地域力向上支援金　事業評価（若穂支所）

令和8年9月28日

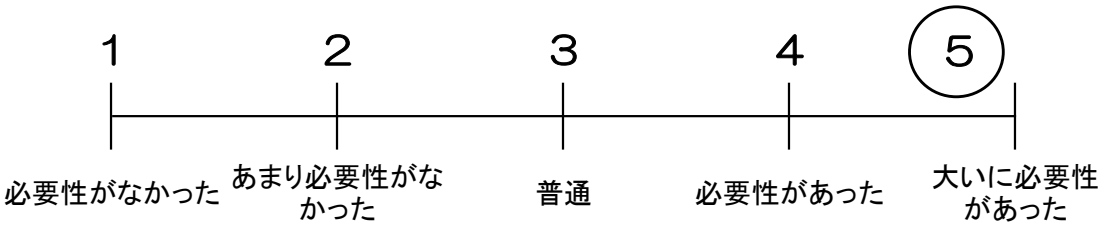
事業名	太々神楽大胴修繕事業

団体名	町区太々神楽実行委員会

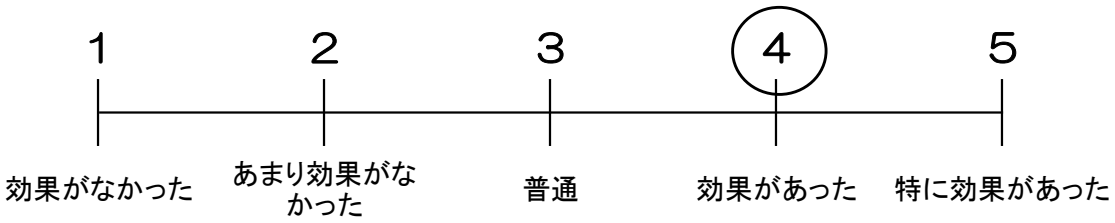
評価項目（選考基準の視点で評価）

事業区分	その他活動

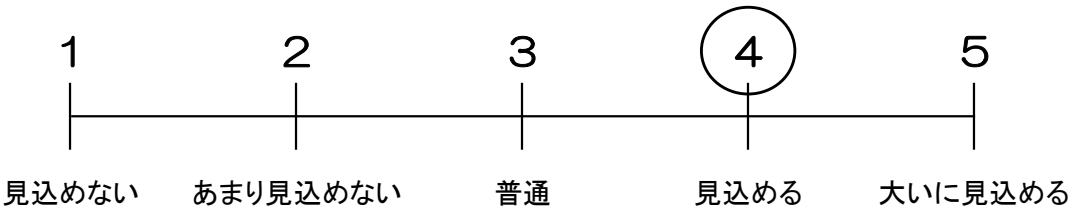
必要性



効　果



将来性



支所長の総合評価（次年度以降の活動への助言等）
地域に根差した伝統行事である綿内弥栄社御例祭や秋祭りでの神楽披露に
重要な道具である太鼓が破損したため、その修繕を行ったものである。
破損により祭礼の練習に大きな支障が懸念されたが、本支援金を活用して
修繕を行い、無事祭礼にて披露することができた。日常の練習や祭り等での
披露は、子ども達次世代への伝統文化継承にも寄与するものであること
から、今後も引き続き地域における取組を期待します。